

『研究ノート』新設のお知らせと募集

編集後記

広島芸術学会年報編集委員会

青木孝夫

このたび広島芸術学会委員会での提唱を受け、年報『藝術研究』に新しく「研究ノート」の欄を設けることを提案いたします。以下にその趣旨を簡単に述べます。

広島芸術学会は研究者や作家のみならず広く市民に開かれています。この趣旨に従い、年報『藝術研究』に「研究ノート」の欄を設けたいと思います。大学に属する研究者の問題関心とは異なる市井の研究が、また、いわゆる藝術学の枠をはみ出る問題領域に却って斬新なアプローチが埋もれているかもしれません。それらを掘り起こし、知的興味や問題意識を共有したいものです。窮屈な体裁に傾きがちな学問的知性の弊害を免れた在野の知もまた貴重です。知的好奇心の新鮮さを保った論考や、また長年の知的愛好が醗酵したエッセイなどを募集します。投稿者は、当会の会員であればどなたでも結構です。研究者やその卵の方の魅力に富むデッサンとして研究ノートも歓迎します。

枚数は400字詰め原稿用紙換算で25枚程度にしたいと思えます。投稿の様式や締め切り等は、一般の学術研究論文と同じ扱いです。審査もあります。詳しくは年報の末尾に記載の「投稿規定」をご参照ください。

広島芸術学会も十五年目の夏を迎え、第十四号の年報を刊行するに至りました。

今回の年報には七本の論文が収載できました。次号からは研究論文や書評とは別に「研究ノート」の枠を新設し、年報の一層の充実を図るつもりです。この「研究ノート」は、会員のみならずの新鮮な知的息吹によって、当学会の知的活力の一層の増進を期して設けるものです。

論文・書評ともども、投稿、お待ちしております。

(あおき・たかお 広島大学)

藝術研究 第十四号 頒価一五〇〇円

平成十三年七月十日 印刷
平成十三年七月十一日 発行

編集 広島芸術学会

〒739-8521 東広島市鏡山一七七一
広島大学総合科学部比較文化研究会気付
TEL 〇八二四一二四一六三三〇

印刷 (株)ぱぷりカプロモーション
〒733-0013 広島市西区横川新町一五十八
TEL 〇八二二二九三三七三四四